

# 院内発生の転倒・転落、骨折イベントの患者側要因の検討

## 情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センター医療安全室では、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

### 研究目的

医療現場において、患者さんの安全は診療内容と並んで重要な課題です。入院患者さんに転倒・転落は患者さんや診療科を問わず発生します。当院内発生の転倒患者は、多数発生し、その中には骨折や手術例もあります。どのような患者さんに転倒などのイベントが発生するかは、わが国ではまとまった報告がありません。

今回、私たちは、先行研究で扱われた危険因子のみならず、フレイルスコアも含めた説明変数を用意し、これを統計学的手法で評価することにしました。

### 研究期間

2020年10月1日から2021年9月30日（1年間）の予定

### 研究の対象となる方

2019年1月1日から同年12月31日に日本赤十字社和歌山医療センターに入院した方

### 研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、院内で転倒・転落した方の患者背景因子を統計学的に調査します。

### 使用する情報および個人情報の保護

抽出したデータには、患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれています。患者さんのIDを使用して、院内に所有する様々な臨床データを突合しますが、突合後の解析データから、患者さんのIDと氏名を削除し、個人情報を再修復できないようにします。また研究用パソコンは、インターネットにつなぎません。論文化から10年以上はデータを保存しますが、その後適切にデータを破棄します。

#### 研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されま  
す。

#### 研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせくだ  
さい。

#### 個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

#### 研究責任者

瀬田 剛史 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 副部長

#### 共同研究者

池上 達義 第2呼吸器内科 部長

直川 匡晴 血液内科 部長

玉置 康之 整形外科 部長

ほか、医療安全ワーキング構成員

#### お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20